

医療援助活動20年を節目に

国際医療の非政府組織(NGO)である「アジア医師連絡協議会」(略称AMDA)の代表、菅波茂さん(四六)が二十日に、「遥なる夢—国際医療貢献と地域おこし」と題した本をAMDAから20日に発行出版する。アジアへの医療援助を二十年続けた節目として、今年から舞台をアフリカへも広げたAMDAの軌跡を振り返りながら今後の展望を語り、地道な国際貢献の必要性を訴えている。

AMDA代表

菅波 茂さん

記念出版



『遥なる夢—国際医療貢献と地域おこし』をまとめた、AMDA代表の菅波茂さん＝岡山市栢津の菅波内科医院で

A5判、約三百頁。国際

継続中のソマリア、ジブ

援助活動を通じた「NGOのメッカ」岡山、国際貢献都市・岡山」構想の実現を唱えて県内のNGOや宗教団体などが七月末に集い、この構想の準備委員会が発足したことを紹介して「国際貢献と地域おこし」という現代日本の二大テーマに、ささやかな一石を投げたい」と述べている。

さらに、AMDAが現在進めているネパールやブータンでの支援活動、過去に支援したフィリピンのピナトウボ火山噴火の被災民への援助活動など、計十プロ

ジェクトについて、活動の内容を説明し、意義を強調した。

本は、とりあえず五千部出版し、消費税込みで二千五百円。申し込み、問い合わせはAMDA(086・284

7330)へ。

地道な国際貢献訴え